

令和5年度東京都訪問看護ステーション協会 精神科訪問看護研修～基礎編～

目的 精神科訪問看護に必要な基本的知識技術を学ぶ

方法 ①オンデマンドによる学習（12科目17時間）1か月以内に終了

②①の終了者に対し 集合研修 事例検討（公開コンサルテーション3.5時間

会場 東京都看護協会（東京都新宿区西新宿四丁目2番19号）研修室（またはONLINE）

科目	時間数	研修内容	ねらい
1.	2時間	「精神科訪問看護の動向」 ・精神保健医療福祉の動向 ・精神科訪問看護の現状と制度	・精神科訪問看護を取り巻く歴史・状況・現状を学ぶ
2.	1時間	「精神科訪問看護の基本姿勢」 ・利用者との信頼関係の構築 ・リカバリー・ストレングスの考え方	・訪問看護における基本的な姿勢を学ぶ
3.	2時間	「精神疾患の理解」 ・統合失調症、気分障害、パーソナリティ障害、アルコール依存、認知症等の症状	・精神科疾患に関する理解を深める
4.	2時間	「精神科訪問看護に必要な薬物療法の知識」 ・向精神病薬の作用と副作用 ・服薬管理の際の留意点	・薬物療法と副作用服薬管理の留意点について学ぶ
5.	1時間	「精神科訪問看護の実際～日常生活支援」 ・QOL向上に向けた援助 等	・日常生活支援の基本を学ぶ
6.	1時間	「精神科訪問看護の実際～医療継続支援」 ・服薬に関する援助 等	・医療的援助について学ぶ
7.	1時間	「精神科訪問看護の実際～拒否のある利用者への対応」 ・訪問時の不在、拒否への対応 等	・拒否のある利用者への対応を学ぶ
8.	1時間	「精神科訪問看護の実際～病状悪化の早期発見・介入」 ・病状悪化のアセスメント 等	・病状悪化の早期発見と介入を学ぶ
9.	1時間	「精神科訪問看護の実際～家族支援」 ・High EE 家族への介入 等	・家族支援について学ぶ
10.	1時間	「精神科訪問看護の実際～多職種連携」 ・多職種・多機関との連携 等	・関連機関・多職種との連携を学ぶ
11.	3時間	「精神科訪問看護における社会資源の活用」 ・精神障がい者が利用できる制度・社会資源の理解	・社会的資源とその活用を学ぶ
12.	1時間	・GAF の評価のポイント	・GAF の概要と評価の方法を学ぶ
13.	3.5時間	・事例検討（公開コンサルテーション）  事前提出の事例レポートを中心に、グループワーク及び講師からのアドバイスで進める。	・模擬事例による検討、講師のコンサルテーション等により自らの訪問看護を振り返るとともに今後の実践のヒントを得る

※ 全20.5時間すべて受講された方に修了証が発行されます。

※ 中抜けは受講時間として認められませんので、評価テストを受けられません。

**本研修会の構成についてご説明します。**

1) プログラムでお示ししている番号(1~12)につきましては、**講師の講義の内容・流れで、それぞれ1まとまりで、6つの単元で動画を構成しております。**

- ① 1. 2 日本精神科協会 仲野 栄
- ② 3. 4 東京医科大学病院 岩田愛雄
- ③ 5. 6. 7 株式会社ハートフル 渡部貴子
- ④ 8. 9. 10 ポールトゥーウィン株式会社 佐藤栄児
- ⑤ 11 グループホーム櫻の杜ハウス 田中文人
- ⑥ 12 仏教大学 末吉民生
- ⑦ 13 事例検討公開コンサルティング(集合またはONLINE) 仲野 栄、井口菊代

2) 動画は時間数に沿って、連続して流れますが、ご自分の状況に合わせて、途中で何度でも退席可能です。ただし、退席した場合は、動画がその場所で止まっておりますので、次に学習を始めるときは、その部分から始めてください。

**途中でお休みを入れても、必ず一度は連続して学習をし、最後の確認テスト、アンケートシートをご記入ください。**

3) 期間内であれば、何度でも最初から見直し、やり直すことはできます。

4) **1か月終了時まで**に、6単元(12科目)を学習し、確認テスト、アンケートシートを完成している方には、**プログラム12までの「修了証明兼集合研修のお知らせ」**をお送りいたします。

5) **各講師の資料**につきましては、(それぞれの単元ごとにダウンロードできます)

6) 不明なこと、不都合なことがありましたら、

事務局 電話 03-5843-5930 Mail: [info2022@tokyohoukan-st.jp](mailto:info2022@tokyohoukan-st.jp) までご連絡ください。